

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 23 年 4 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 23 年 1 月～3 月期の実績および平成 23 年 4 月～6 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	16 社	53.3%
水産業部会	30 社	14 社	46.7%
機械工業部会	30 社	13 社	43.3%
建設業部会	30 社	19 社	63.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	21 社	70.0%
合 計	150 社	83 件	55.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は悪化・次期も悪化見込み－

1. 全体の動き(業況)

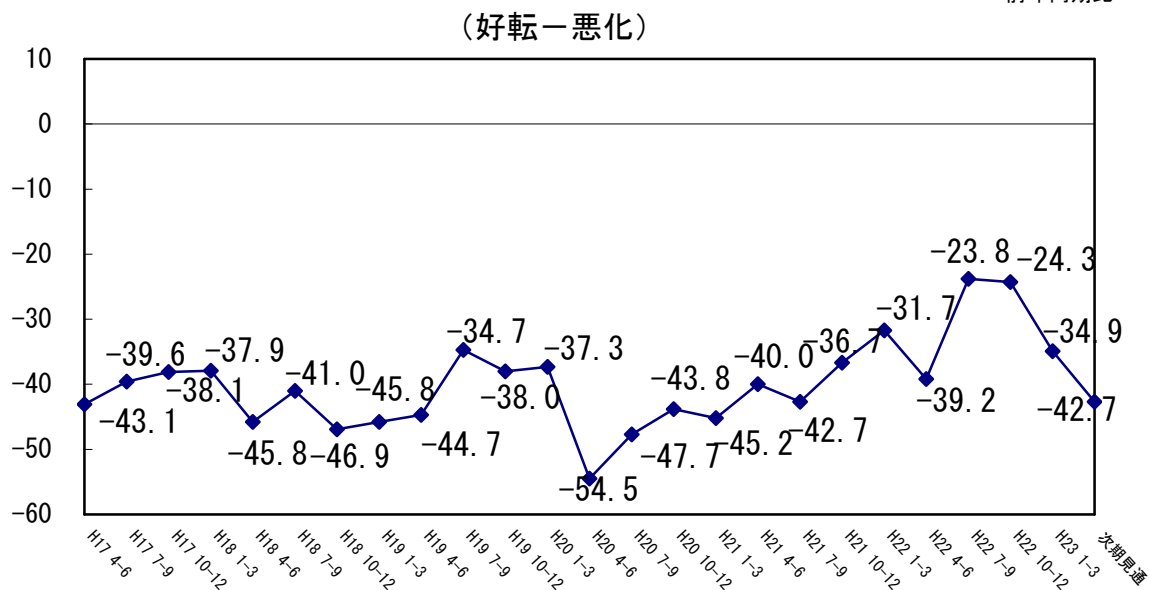
四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成23年1月～3月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△34.9**と前回調査時の△24.3から悪化傾向にある状況となりました。H16年度の調査以来マイナス30%台からマイナス50%台を常に行ったり来たりし、1年を通してみると第二四半期以降、業況指数が20%台へと改善傾向に振れたものの、ここにきて再度マイナス30%台へと戻ってしまった。市内経済を取り巻く経営環境は今後も厳しい状況が続いており、非常に先行きが悪い状況となりました。

部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△13.3→今期△12.5]、水産業[前期△21.4→今期△64.3]、機械工業[前期+18.2→今期△30.8]、建設業[前期△37.5→今期△42.1]、観光・サービス・諸業[前期△42.1→今期△28.6]となりました。業況は依然マイナス水準で推移しているものの、**商業・食品業、観光・サービス・諸業**においてはマイナスながらも**やや改善する動き**がみられます。反面、冬期休業状態であった**水産業**については全体的には業況が悪くなっている状態であり、今後の漁業再開後の水揚げ状況、卸値相場の行方などを注目したい。また、自動車関連業種である**機械工業**も前期のプラス圏への回復から大幅悪化へと転じています。

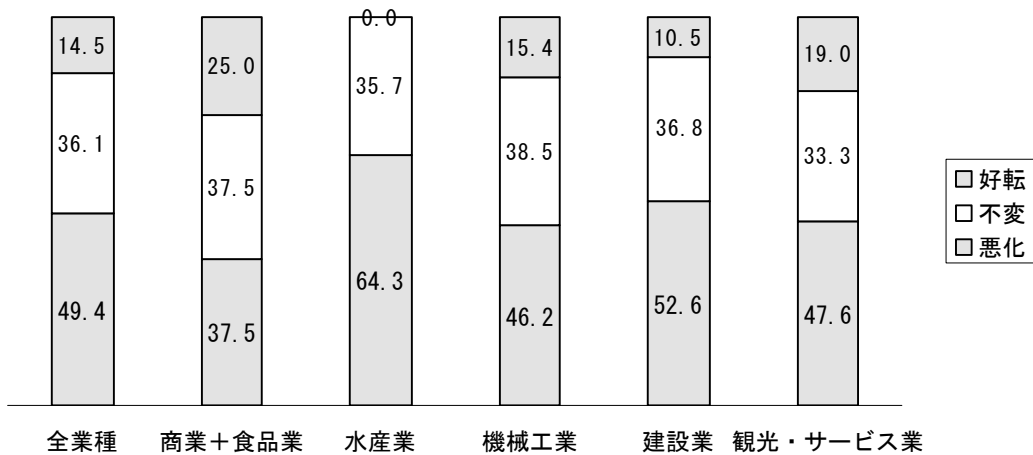
来期(平成23年4月～6月)については、今期と比べて**業況判断DIが7.8ポイント悪化**するとの見通しであり、今までの回復傾向が悪化に戻るといったグラフとなっています。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、**需要の停滞**が水産業（原料不足）以外の全業種で訴えられており、震災後の先行き経済への不安などが強く心配されている。

部会別の動向

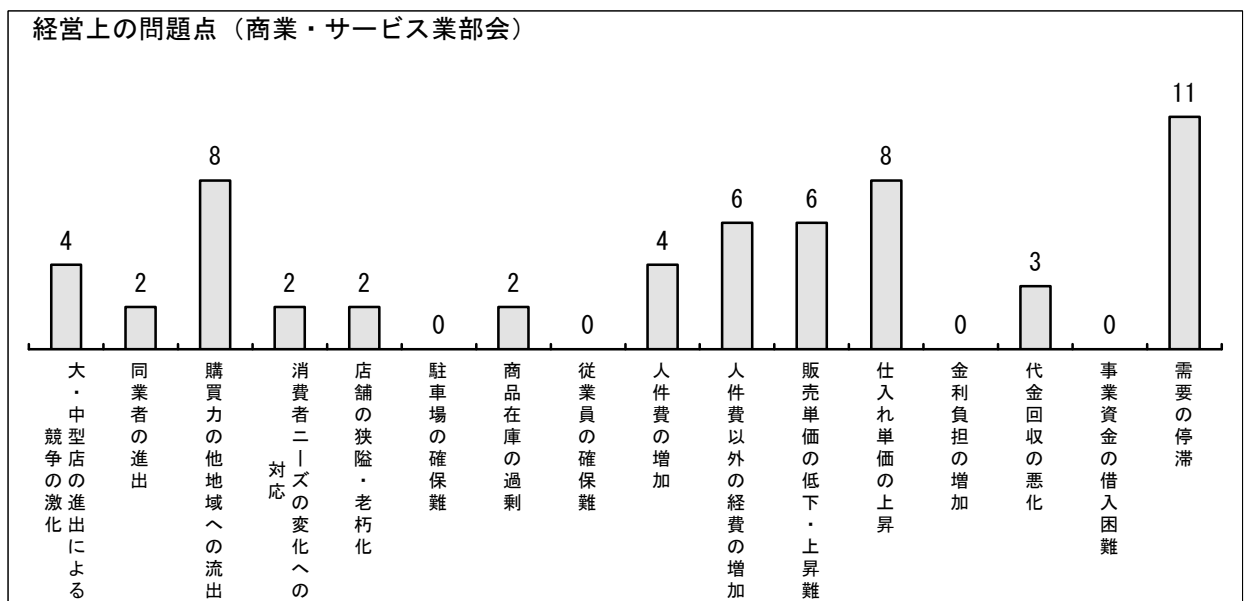
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△12.5（前期△13.3、来期見通し△43.8）〕

業況DI値（前年同期比）は、前期よりも数字面では改善しておりますが、横ばい状態であり依然として消費者の買い控える状態が続いており、人口の減少や景気低迷による購買力の低下を訴える声が多く寄せられています。来期見通しは悪化するという厳しい予想ですが、自粛ムード払拭による夏物商戦に向けての期待を持ちたいところです。

経営上の問題点としては「需要の停滞」に加え、「購買力の他地域への流出」「仕入れ単価の上昇」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

・大震災の影響で仕入が順調でないのが心配ではありますが、少しずつ回復しつつあるが…（小売）



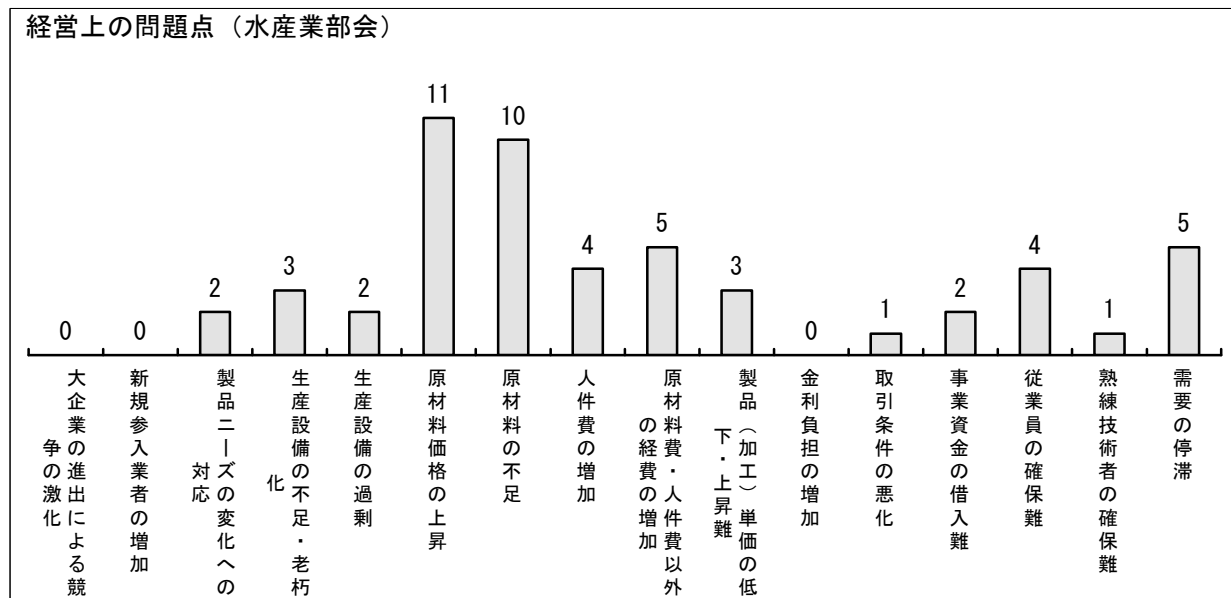
【水産部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△64.3（前期△21.4、来期見通し△42.9）〕

流水が去った浜の状況は、非常に厳しい状況で推移している。ホタテの仕入れ先でもある伊達の噴火湾はホタテの稚貝が壊滅状態と聞いており今後の原料不足が悪化していくと思われる

す。毛ガニの本格シーズンですが、消費者の自粛ムードと観光地での売上げが伸びない状況でカニ単価が安くても買われないという状況で、厳しい状態だと聞いております。経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」などがあげられています。

《業界の問題点等》

- ・ 景気、消費の冷え込みが大きく、売上が伸びない。(水産加工)
- ・ 原料不足 (水産加工)



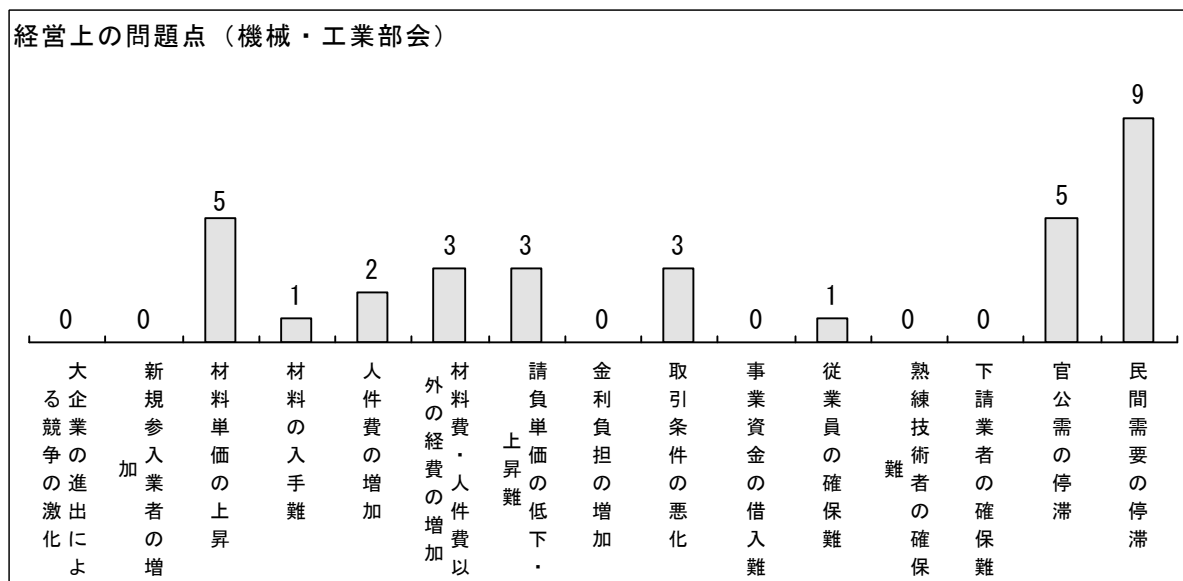
【機械・工業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△30.8(前期+18.2、来期見通し△33.3)]

前期の調査段階の時にエコカー減税の期限切れ駆け込み需要とで業況判断プラス圏のDI値回復だったのですが、今期はエコカー減税終了と消費者マインドの低下により一転マイナス値となりました。来期見通しは横ばいで業況の悪い状態との見方がでております。

経営上の問題点としては、「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「材料単価の上昇」などが寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ ①取引先の減少、②酪農家の生産物(乳価の下落)、③農産物関係全般(所得補償動向の未完の為、先行き不安で設備控えてる)、④TPPにより、輸入の自由化による更なる販売価格下落見込みにより買い控え。(機械販売修理)



【建設業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△42.1(前期△37.5、来期見通し△52.6)]

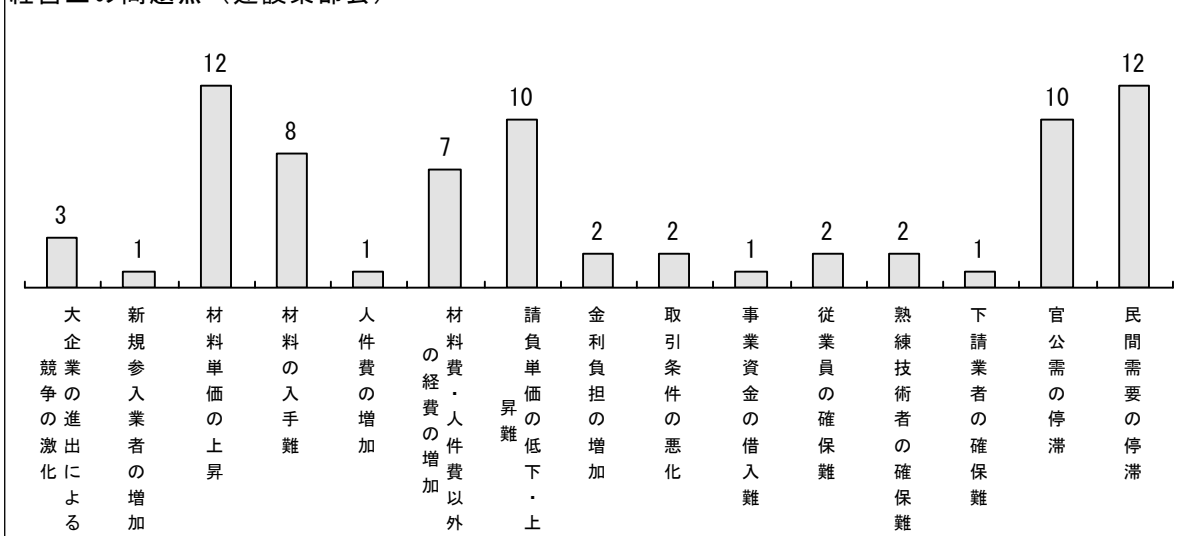
今期のDI値は前期とほぼ横ばいの状況で厳しい状態です。今後夏シーズンに突入し、工事量の増加や土木建築工事が増えることを期待したいところですが、大震災の復興優先のムードが高まり公共工事の更なる削減がありそうだという声も聞こえてきています。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「材料単価の上昇」「官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」などがあげられています。

《業界の問題点等》

- ・ 紋別市の森林認証制度の助成も良いが、遠軽町、帯広市などの建設工事商品券の導入検討の前向きな姿勢が欲しい。建設業、板金、塗装、電気、水道、造園などの各種の業界が潤うと思う。(建設)
- ・ 紋別の業者をなるべく使う様にしよう！！建築なんかは、外業者が結構入っています。工場とかも多いですね。(建設)
- ・ 計画停電により資材の生産が出来ず、仕入数に限度がある。(電気工事)

経営上の問題点(建設業部会)



【観光・サービス部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△28.6(前期△42.1、来期見通し△38.1)]

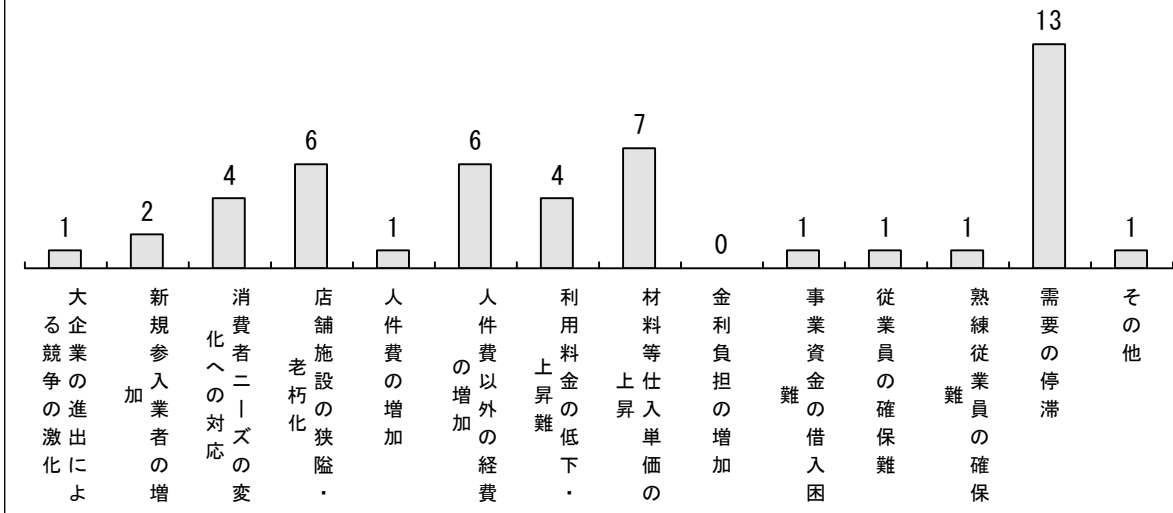
業況判断DI値(前年同期比)は前回調査よりは回復したものの、依然として厳しい状況が続いております。全業種の景気状況に左右される業種であり、サラリーマンの給与所得の減少や景気低迷による買い控えの影響で売上が減少し、特に飲食関係では自粛ムードの広がりや懇親会等の取りやめあるいはホテル業界では震災の影響による外国人宿泊予約のほとんどがキャンセルとなり、経営内容は今後も非常に厳しいと聞いております。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「材料等仕入単価の上昇」などがあげられています。

《業界の問題点等》

- ・ 人口減少と今回の大震災の影響がどういふふうになるのか見当も付かない。(飲食業)
- ・ 特にありませんが、健康で明るく仕事を続けて行きたいと強く願っています。(飲食業)
- ・ 東北関東大震災による物価の上昇、観光客の入り込み減少。(サービス業)
- ・ 3/11発生の東日本大震災の為、本州方面からの御来店お客様全くなし。観光産業に悪影響大！復活まで長年月かかりそう。(飲食業)
- ・ 人口減と高齢化による消費減。生・損保業界の焦燥激化！(サービス業)

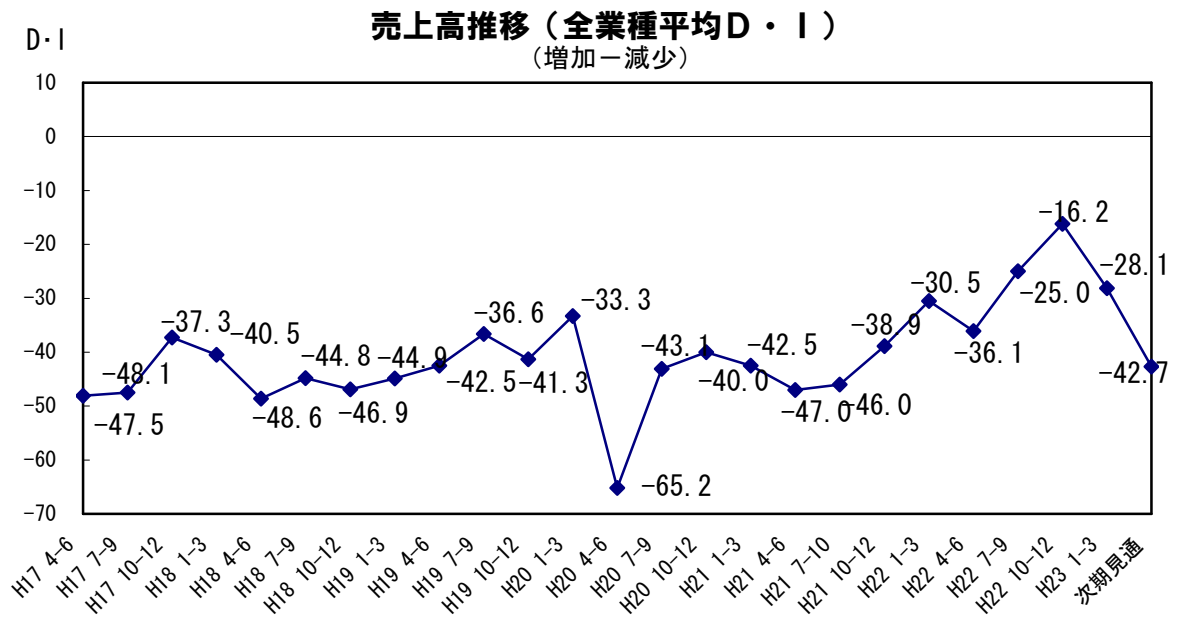
経営上の問題点（観光・サービス業部会）



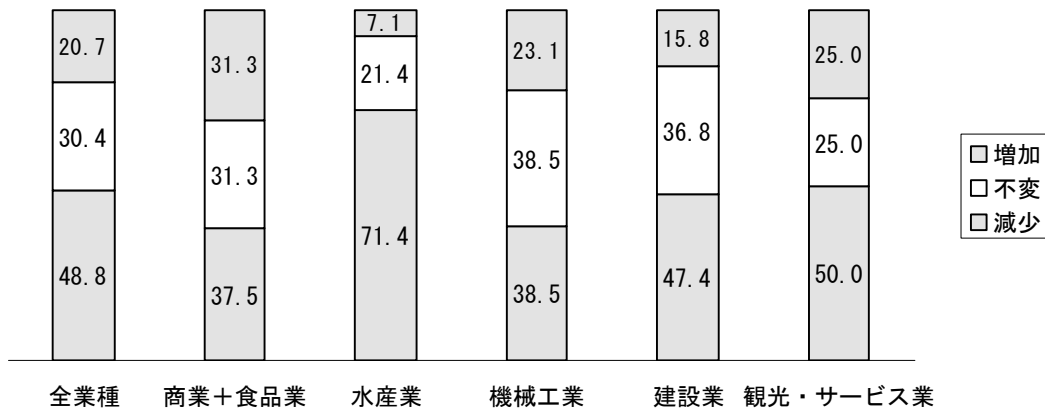
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 22 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の売上高）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値 $\Delta 28.1$ 〔前回調査時（平成22年10～12月期 $\Delta 14.7$ ）より13.4ポイント悪化。〕

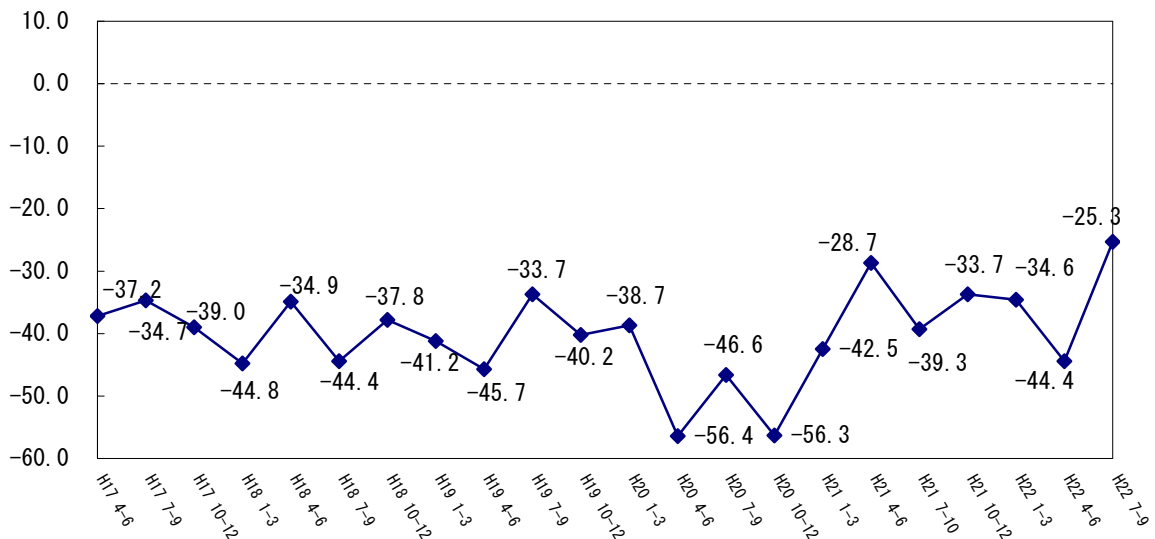
【部会別DI値】 商業・食品業〔前回 $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 12.5$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 0.0 \rightarrow \Delta 64.3$ 〕
 機械工業〔前回 $\Delta 45.5 \rightarrow \Delta 30.8$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 42.1$ 〕
 観光・サービス業〔前回 $\Delta 47.4 \rightarrow \Delta 28.6$ 〕

(2) 今期の採算

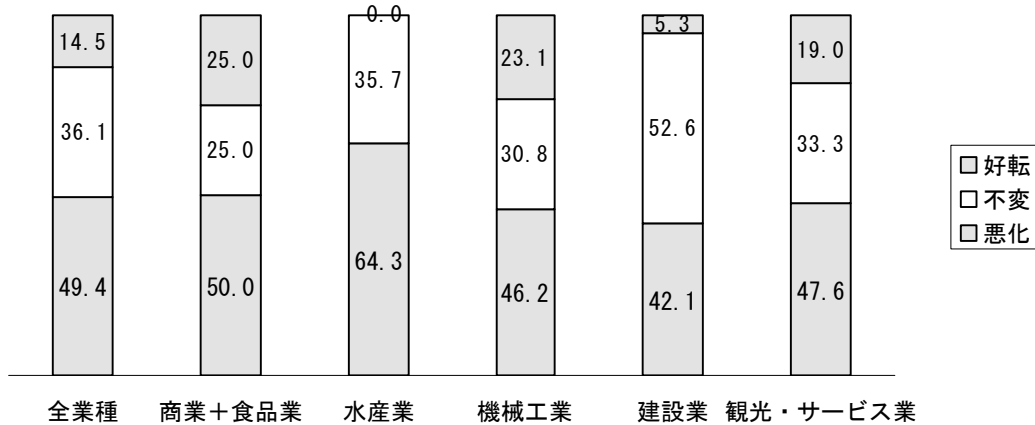
【前年同期比】（平成22年1月～3月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）



今期の採算（前年同期比）

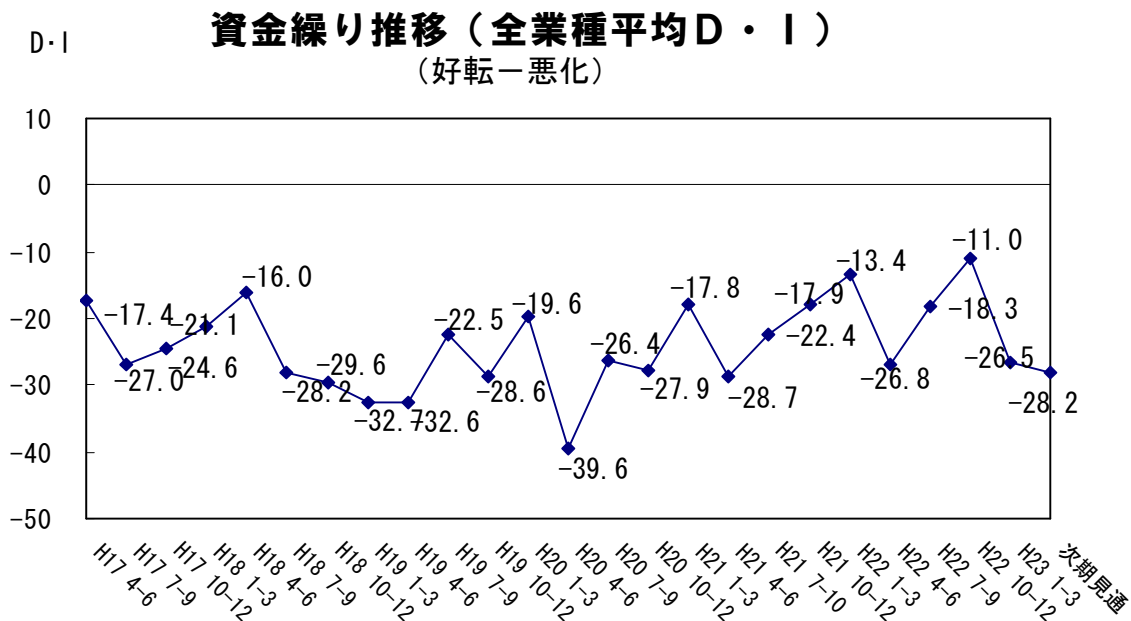


全業種平均でDI値△28.1〔前回調査時（平成22年10～12月期△24.0）より4.1ポイント悪化〕

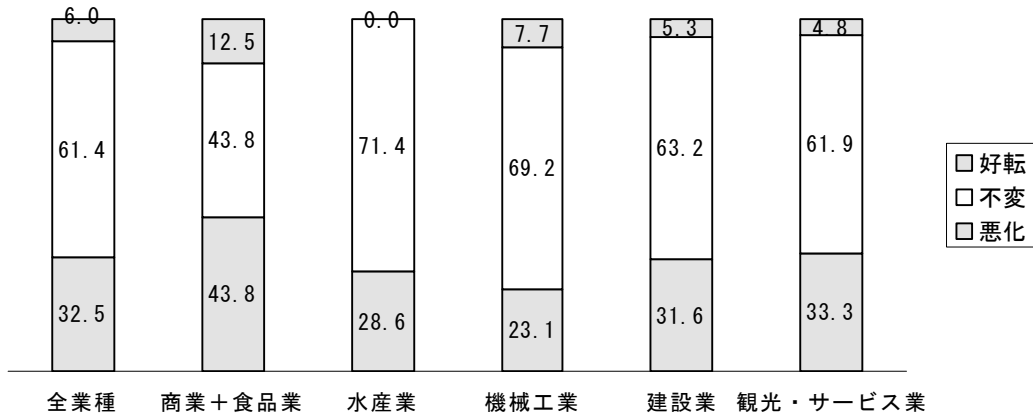
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回△6.7→△6.3〕、水産業〔前回△28.6→△64.3〕
 機械工業〔前回△36.4→△15.4〕、建設業〔前回△56.3→△31.6〕
 観光・サービス業〔前回△42.1→△25.0〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成22年1月～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



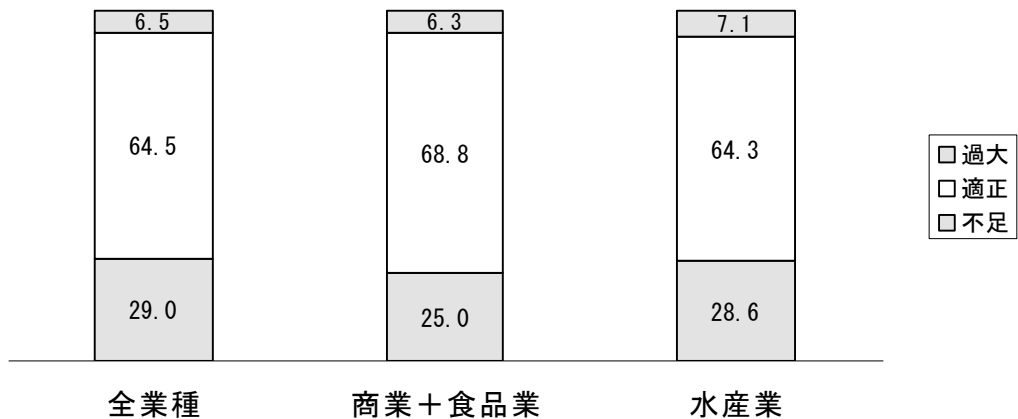
全業種平均でDI値 $\Delta 26.5$ 〔前回調査時（平成22年10～12月期 $\Delta 10.8$ ）より15.7ポイント悪化〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 $\Delta 13.3 \rightarrow \Delta 31.3$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 28.6$ 〕
 機械工業〔前回 $\Delta 27.3 \rightarrow \Delta 15.4$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 18.8 \rightarrow \Delta 26.3$ 〕
 観光・サービス業〔前回 $\Delta 27.8 \rightarrow \Delta 28.6$ 〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成22年1月～3月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



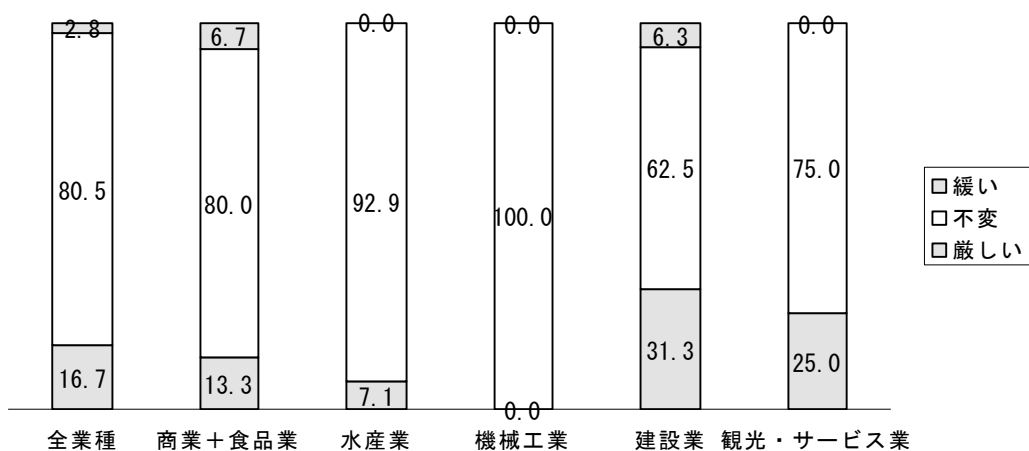
全業種平均でDI値 $\Delta 22.5$ 〔前回調査時（平成22年10～12月期 $\Delta 6.9$ ）より15.6ポイント在庫減少〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回 $\Delta 0.0 \rightarrow \Delta 18.8$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 14.3 \rightarrow \Delta 21.4$ 〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 22 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

今期の金融機関の貸出姿勢

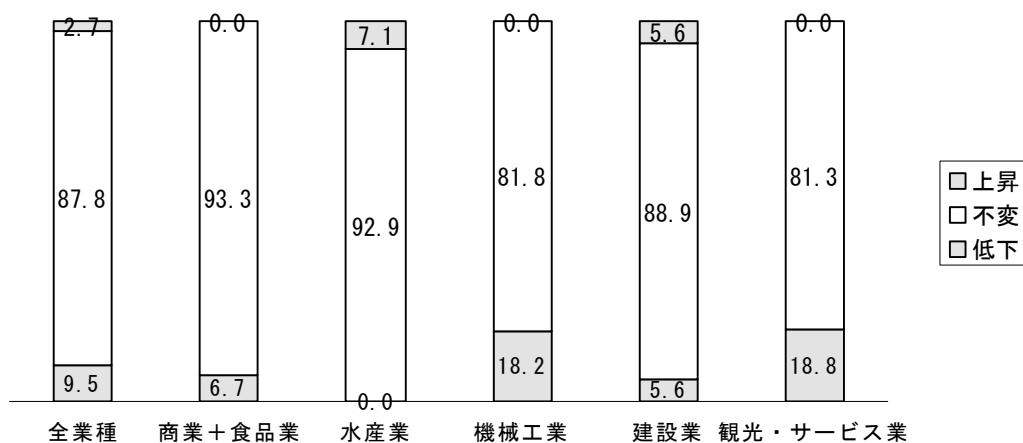


全業種平均で△13.9 ポイント。商業食品業△6.7 水産業△7.1 機械工業 0.0 建設業△25.0 観光サービス業△25.0

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 22 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

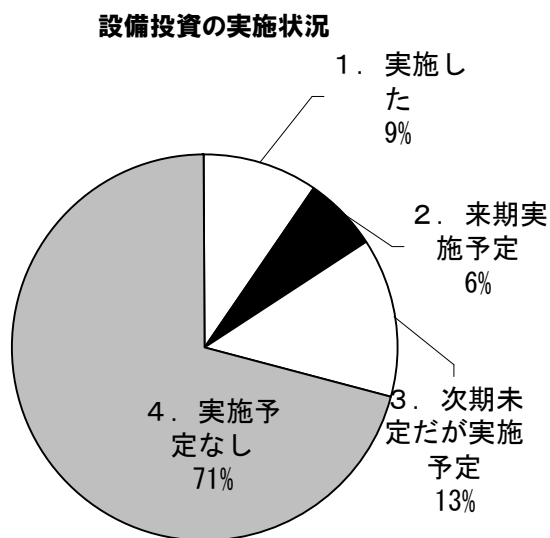
今期の借入金の金利水準



全業種平均で△6.8。商業食品業△6.7 水産業 7.1 機械工業△18.2 建設業 0.0 観光サービス業△18.8。

(7) 設備投資の実施状況

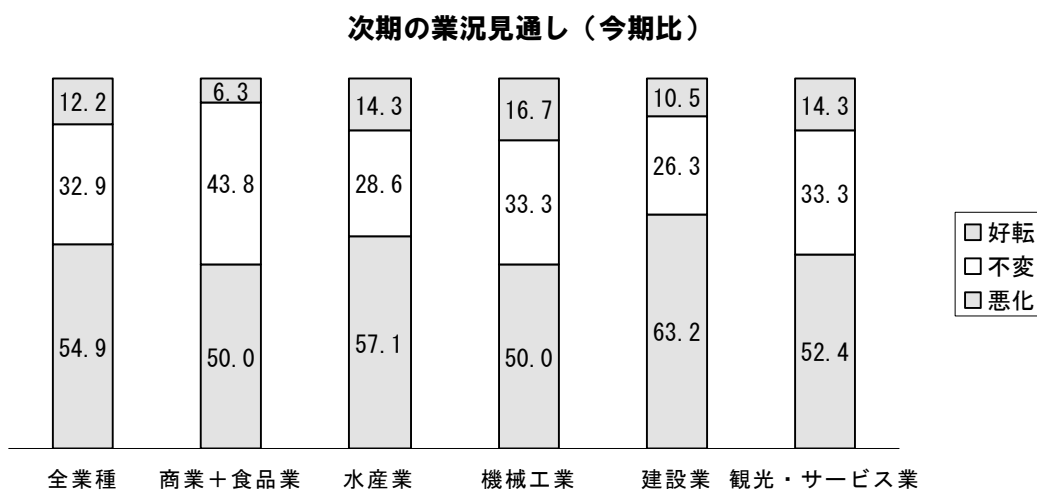
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成23年1月～3月期の水準と比較した来期の業況見通し）

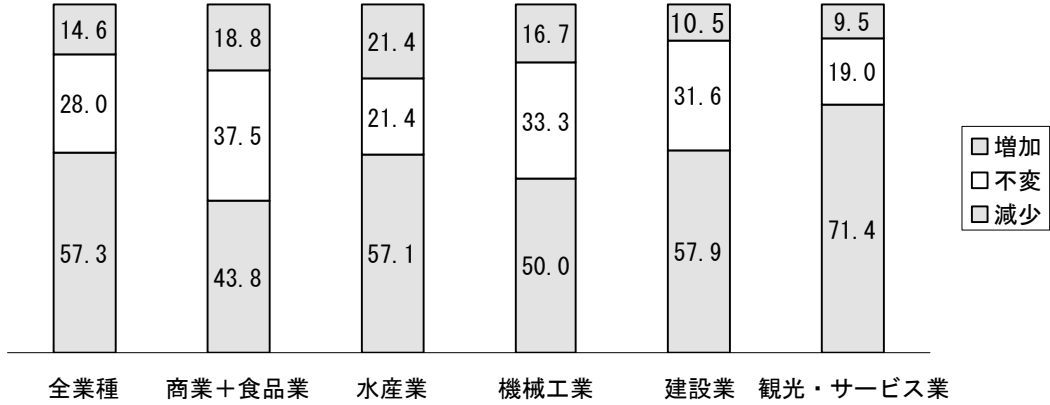


全業種平均DI値 Δ 42.7〔今期の業況（前年同期比 Δ 34.9）より7.8ポイント悪化の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 23 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

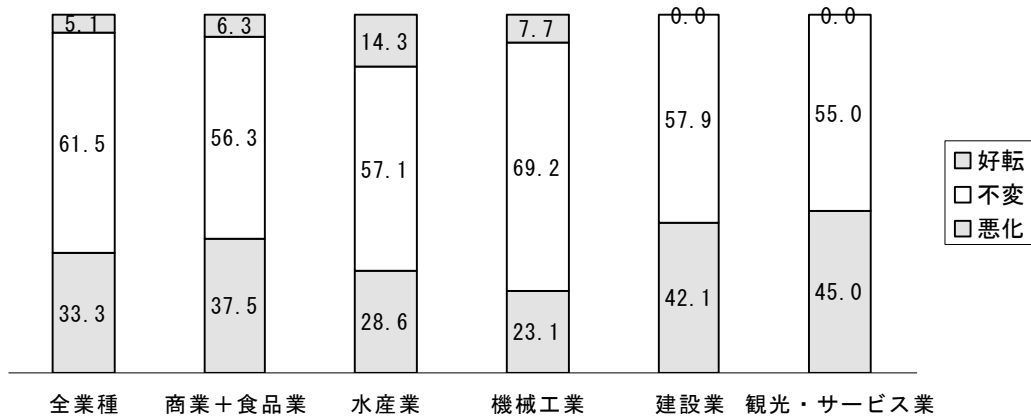


全業種平均 DI 値 $\Delta 42.7$ [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 28.1$ ）より 14.6 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 23 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 28.2$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 26.5$ ）より 1.7 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	△34.9	△12.5	△64.3	△30.8	△42.1	△28.6
	来期見通し	△42.7	△43.8	△42.9	△33.3	△52.6	△38.1
売上 D・I	今期実績	△28.1	△6.3	△64.3	△15.4	△31.6	△25.0
	来期見通し	△42.7	△25.0	△35.7	△33.3	△47.4	△61.9
在庫 D・I	今期実績	△22.5	△18.8	△21.4	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	△34.9	△25.0	△64.3	△47.1	△33.3	△33.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	△13.4	△18.8	△6.7	△23.5	5.3	△26.7
	来期見通し	△14.8	△20.0	△13.3	△12.5	△10.5	△50.0
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	△1.4	7.1	△20.0	7.1	5.6	△8.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	△1.3	0.0	6.7	△7.1	0.0	△9.1
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。